

やくわえ

○大寒禊

一月二十一日明治神宮で青年会主催の大寒禊が行われた。

青年会としては十年ぶりに行う行事であり、数日來の寒さから、出席者は少ないのではないかと危惧する声もあったが、阿部会長以下役員は熱意は、四十五名参加という形で実を結んだ。

篠総務部長の道彦の元、水の冷たさもさる事ながら外氣の寒さに鳥船ならぬ鳥肌をたてつつ心身を清め禊の心髓に迫った者は以下の通り、(台東区)阿部明德、瀬川昌之、上牧瀬勇二、弓野修一、(豊島区)佐久間則勝(渋谷区)福田勉、田村武、後藤雅人、石川伸一、中



川武仁、大丸真美、水谷敦憲、野村浩史、高島信一郎、木下龍輝、林田尚修、高橋徳久、(品川区)大石定道、松本仁、森田一、山口直英、(葛飾区)森山晴男、(千代田区)三島安昭、中居一元、大橋知世、(府中市)猿渡昌盛、(練馬区)奥野雅司、(杉並区)本橋宣彦、渡辺寛、小伊文弘、斉藤博明、斉藤明比古、(港区)滝雅人、(板橋区)徳正嗣、(江東区)神保恵一、内海寿之、丸山聡一、天海尉之、田中寛之、(文京区)岩崎知樹(墨田区)今井達、椎名香都夫、(中野区)小俣章、(新宿区)大久保直倫、(神社庁)清水音徳、この中に当日二度も大寒禊をした阿部会長(神社庁)の報告を聞く方(是非この方)の御礼として完成に御礼申し上げます。



No.109

令和5年9月1日発行
東京都神道青年会

表紙写真

平成4年6月15日発行
『やくわえ』47号記事
令和5年1月20日
大寒禊錬成研修会風景

※今期発行の『やくわえ』109~112号で八方に伸びる八桑枝が完成いたします。是非4冊合わせてみてください。

就任挨拶



会長
篠川 泰比呂
氷川 神呂
柳 宜

この度、大鳥居前会長より都神青会長の重職を引き継ぐこととなりました。浅学菲才の身の上ではありますが、当会の発展と斯界の興隆の一助となるよう重責に向き合い、職務に努めてまいりたく存じます。

数年に亘る新型コロナウイルス感染症による影響は、人々の生活を一変させ、従来の価値観や社会様式のあり方に対し、大きな一石を投じました。その波紋の影響は多岐に渡り、良くも悪くも世界に新たな視座と進歩の機会を与えました。そして、世界はこの難局を乗り切るべく英知を結集し、安寧を取り戻すべく邁進してきました。その過程で獲得したものがあ一方で、喪失したもののや希薄になったものも多くありました。これは、斯界にも当然当てはまることであり、我々は多くの課題に向き合うことになりました。

令和の御代も早五年を迎え、次年度、当会は創立七十五年の節目を迎えます。この過去を振り返り、未来について考えを巡らせる周年の年に時代の変わり目のような時期が重なったのも何かの縁かもしれません。人間一人一人は決して万能ではありませんが、団結と結束を以て少しずつ前進してきました。当会も長い歴史を紡ぎ、良いことも良くないことも共にあったことと拝察いたしますが、より良い未来を求めて着実に歩を進めています。それは、先輩諸賢の決意と努力の歩みによって踏み固められた道の上に存在しています。次代を担う者は、その道をより良く整え、更に道を開き、後進へ筋道を示す役目があります。

今期青年会活動では、本会の第一義の目的である「会員相互の研鑽と親睦を図り、神社神道の興隆を期する」を新たな視点を以て見つめ直し、会員一人一人の内に秘めたる想いの灯を集め、歴史から学び、今に活かし、未来を照らすべく温故創新の理念を以て事業を展開し、会務を遂行してまいりたいと存じます。二年間何卒宜しくお願い申し上げます。



副会長
内海 通人
東大鳥 神人
柳 宜

今期、副会長という重責を仰せつかり大変身が引き締まる思いです。この青年会活動では、多くの諸先輩方よりご指導を頂き、多くの会員の皆と意見を交換することができ、多くの学びを得ることができ、この青年会活動により多くの仲間もできました。

今期は創立七十五周年を迎える期ということ、一年目は周年事業の準備、また通年事業を通常に戻すことを、そして二年目に周年事業を行っていきま。この青年会活動で得た学びと仲間たちと共に、七十五周年の諸事業を作り上げていければと思っております。歴史を振り返り、未来へとつなぐ一助となるよう会長を、役員また皆様と共に精一杯お支えするつもりです。何卒皆様のお力添えを頂ければと存じます。



副会長
服部 佑子
平河 天満宮
柳 宜

この度、副会長という大役を仰せつかることとなり、ドキドキです。

都神青に入会してから教養部・広報部・総務部と様々な部で経験させていただき、まさかまさかの今、身に余る役職ではありますが、これまでの経験を少しでも伝えることができたいと思っております。今期は創立七十五周年を控えており、また数年続いたコロナ禍から日常が少しずつ戻ってきている中で、大切な二年間となることでしょうか。時には悩んだり迷ったりする場面が出てくるかと思っております。そんな時こそ今の私たちが、今の時代に何ができるか何を行うべきかを考え、これまでの歴史を振り返りながら篠会長の下、役員はじめ会員の皆さんと共に真面目に楽しく活動していきたいと思っております。至らぬ点が多いですが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



議長 森 尚久
磐井 神久
榎 宜

都神青に入会し十二年が経過しますが、総務部・教化部とそれぞれ活動を経験させて頂きました。裏方で活動して身を引いてゆこうと思っていたところ、篠会長からの熱意と相談役の方々の後押しにより、議長を仰せつかる決意を致しました。三役としての重責も担い身の引き締まる思いです。
新型コロナウイルスの法律上の位置づけが五類へ移行する方針となり、これまで制限をかけていた当会の活動も正常に戻りつつあります。過去の活動を振り返ると同時に、翌年の創立七十五周年に向けても準備に努めてまいり所存です。
人前で話すことには慣れておらず議長として力不足の点もありますが、冷静沈着に務めてまいりますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。

総務部



部長 高島 俊亮
天祖 神亮
榎 宜



会計 渡邊 輝比古
銀杏岡 八幡神社
榎 宜

二年間、総務部部長の役職をお預かりすることになりました。正直に申し上げますと、お受けするかギリギリまで迷いました。しかしお受けした以上は円滑な会務運営を目指してまいります。
幸いにも、会計・庶務に至るまで総務部には頼もしいメンバーが揃っております。私共が一つとなり、篠会長をお支えしていく所存です。
不慣れな新部長ではありますが、誠心誠意努めますので、何卒宜しくお願ひいたします。



庶務(事業) 山中 聡一郎
田無 神一郎
榎 宜



庶務(広報) 船田 睦子
穂田 睦子
宮 司



庶務(渉外) 千葉 布子
稲荷 神子
榎 宜



庶務(教化) 田村 仁志
大宮 八幡宮
榎 宜



庶務(教養) 鶴岡 慶子
天沼 八幡神社
榎 宜



庶務(総務) 榎本 光孝
諏訪 神光
榎 宜

教養部



部長 佐和橋 義之
深川 神明宮
榎 宜



副部長 豊田 芳亮
田無 神亮
榎 宜



幹事 榎 拓磨
穴守 稻荷神社
榎 宜

前部長の努力もあり、前期の後半から教養部の事業が少しずつ動き始めました。そうした前期を引き継ぎまして、今期は神道行法錬成研修会・大寒禊錬成研修会をはじめ雅楽研修会・祭祀舞研修会など、先輩方が積み上げてきたものをまずは以前の形で行えるよう進めてまいります。
今期は私をはじめ新人の多い教養部でございますが、一丸となって事業に取り組みます。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。併せて、各事業には一人でも多くの方に参加頂きますよう、宜しくお願ひいたします。

教化部



部長 毛利 勇人
毛戸 天神社 権禰宜



副部長 佐佐木 照展
小石川 大神宮 権禰宜



幹事 牧田 尚
多摩川 浅間神社 権禰宜

入会して教化部員に始まり、多くの先輩・都氏青協の方々に世話になり、支えて頂き、部長を仰せつかることとなりました。教化部は都氏青協の事務局へ活動協力しており、青年会・都氏青協の両輪を繋ぐ重要な役割を担っています。本年は全国氏子青年協議会創立六十周年記念大会（東京大会）を都氏青協が主管にて行います。「繋げよう繋がろう氏青の心粹と絆を次世代に」をテーマに、多くの方々をお迎えする予定です。教化部一丸となって活動してまいりますので、宜しくお願いいたします。

渉外部



部長 齋藤 剛
下高井戸 八幡神社 宮司



副部長 田村 康晃
渋谷 氷川神社 権禰宜



幹事 佐々木 義修
櫻田 神修社 権禰宜

渉外部は慰霊事業、英霊顕彰を行うとともに、神青協や一七協の事務局として事務連絡を行います。渉外部の担当する事業は会議などが多く、表には見えづらいことが多いのも事実です。お社のご理解を得られなければ事業に出ることは難しいかと思いますが、ぜひ一度ご参加いただき、東京、関東、全国に目を向けていただければ幸いです。

最後に残るのは、文章・写真といった記録です。和紙に墨で書いた文書が千年残るように、物質である会報誌「やくわえ」は、デジタル化が進む現代であっても長く確実に手元に残ることでしょう。各部・各役員さん方の過ごしたかけがえのない時間を的確に記録し、正確に後世に残すこと、広報部が真剣に取り組まねばならないことだと思っております。それぞれが想いを持って取り組んだ青年会活動を、時や場所を越えて伝わるよう、広報部一同で記録・発信してまいります。何卒よろしく宜しくお願いいたします。

広報部



部長 本橋 知子
馬橋 稲荷神社 権禰宜



副部長 藤ヶ崎 智栄
浅草 神智栄社 権禰宜



幹事 田部 景子
初音 森神子社 権禰宜

事業部



部長 渡邊 喬弘
千住 氷川神社 権禰宜



副部長 八園 治穂
八幡 神穂社 権禰宜



幹事 篠原 萌花
穴守 稲荷神社 権禰宜

猛威を振るった新型コロナウイルスで中断された懇親事業の再建を狙うべく、諸先輩方のお言葉をいただきながら、一つ一つ丁寧に事業に向き合い、記憶に残るような事業展開をしていきたいと考えております。初の部長職で不安もございますが、この頼もしい事業部メンバー達と共に企画・実施してまいりますので、皆様のご協力・ご参加の程、宜しく宜しくお願い申し上げます。

監事



大鳥居良人
おおとりい よしひと
亀戸天神社
宮司

入会当初より、任期や役に就く人が変わっても「監事」というのは常に恐い存在でした。役員会の場をはじめ、ご意見やご指摘など発言されるたびに「何を言われるのだろう」と震え上がっていた気がします。今度は自らがその役職を預かることになりました。どのような監事で行られるかは分かりませんが、会の発展を第一に考え、「何よりもまずは自分に厳しく」を心掛けていきたいと思えます。今期は創立七十五周年を迎え、

また、次期神宮式年遷宮の足音も聞こえてきます。取り組むべきことも多く大変な期間ではありませんが、妥協せず、言い訳せず、やらない理由を探すのではなくやれる方法を考え、できることをコツコツと、ともに歩みを進めていきましよう。

二年間、宜しくお願い致します。



山口祐樹
やまぐち ゆうき
雫神社
神宜

この度、監事を仰せつかることとなりました。二年間篠会長以下新役員の皆さんの支えとなれるよう力を尽くしてまいります。

「現役最年長」という逃れられない肩書き……。都神青の一大勢力だった昭和五十五年生組も、とうとう最後の一人となってしまいました。それと同時に今期は愈々平成生まれの役員が多くを占めるようになり、「世代交代」という言葉をつくづく実感しています。

青年会の武器は何と言っても、「若さ」です。それは溢れるエネルギーであり、行動力であり、価値観や柔軟さではないでしょうか。世の中はコロナ禍からの脱却を見据え加速度的に変化しています。篠会長はじめ新世代役員の皆さんは、是非その機を逃すことなく、「若さ」を武器に様々なことに挑戦・実行して頂きたいと思えます。



平岡好仁
ひらおか よしひと
幸稲荷神社
宮司

この度、監事を仰せつかりました平岡と申します。何卒宜しくお願い致します。

都神青に籍を置いて十五年。入会した当時からお付き合い頂いている諸先輩に、「平岡はいくつになった？」と聞かれ、四十を過ぎたことをお伝えすると「えっ、もうそんな歳か」と驚かれながら、私自身も驚いております。

今期、監事という大役をお預かりするにあたり、自分に何ができるのかを日々模索しております。ただ、一つだけ貫き通したいことがあります。それは、後輩や仲間たちへの声掛けです。私が青年会にこれ程長く所属できたのは、些細なことでも声を掛けてくれた諸先輩と仲間の存在があったからこそでした。そんな経験も交えながら、今期の頼もしい仲間と共に篠会長を支えていきたいと思えます。

コラム

子どもをベビーカーに乗せて出掛ける機会が増え、行先について入念に調べるようになった。移動手段、子どもと食事できる所、遊ぶ所の有無など。おかげで当日慌てることはない。旅行でも同様である。

そんな中で「旅行が作業に成り果てたなと感じます」というSNSの投稿を目にした。旅行前にネットで調べ上げ準備し、ネットで見えた風景を確認しに行く作業になってしまっていると。耳の痛い話である。媒体で見たものを直接見たいというのも旅をする動機の一つであるし、調べるのが間違っている訳ではない。昔の人も簡単に調べられるならそうしていただろう。ではなぜ確認しに行く作業になったと感じるのか。

その答えの一つは偶然がないこと、であると思う。調べ上げた結果旅の始まりから全て明らかで、偶然が入り込む隙がないのである。情報が何でも目に入ってしまう時代、そうなるのは仕方のないことであり、それでも旅をする私たちは偶然を求めているのかもしれない。

活動報告

大寒禊錬成研修会



一月二十日、明治神宮禊場に於いて、篠直嗣・奥野雅司両道彦先生、助彦先生方のご指導のもと、都氏青協大井真二副会長、大鳥居良人会長をはじめ、総勢二十九名が集い大寒禊錬成研修会が執り行われた。コロナ禍の影響により、三年ぶりの開催となり、感染対策として常時マスク着用となったが大寒らしい寒さの中、皆が心を一つにして禊行を行うことができた。年始に禊行を行うことで、心身をより一層引き締め、神職として浄明正直を心がけ日々の神明奉仕に励んでいきたい。

コロナ禍により中止が続いたが、事業の継続の大切さを痛感する研修会となった。
(石川明寿)

新年会



一月三十一日、神田神社明神会館に於いて来賓・先輩諸賢にご臨席頂き、七十四名の参加のもと、三年ぶりに新年会が開催された。

先ず神田神社を正式参拝、御神前にて敬神生活の綱領を唱和の後、大野裕丈監事の先導にて聖寿万歳を行った。

次に、明神会館にて新年会に移り、大鳥居会長挨拶、来賓祝辞と続き、神田神社清水祥彦宮司のご発声で乾杯・祝宴となった。三年ぶりの新年会に参加者同士が垣根を越えて大いに懇親を深めた。また、以前と同様に清興であるくじ引きが行われた。大鳥居会長がくじ引き役を務め、和やかな雰囲気

に包まれた。時間は一瞬にして過ぎ、都氏青協大井副会長の手締めにてお開きとなった。
(千葉布子)

建国記念の日奉祝パレード



二月十一日、「日本の建国を祝う会」主催による皇紀二六八三年「建国記念の日奉祝パレード」が原宿表参道に於いて行われた。

当日は晴天に恵まれて暖かな日差しの下、表参道から原宿駅前神宮橋まで奉祝パレードが執り行われた。本年度は当会より細野喜久広報部員、佐々木義修渉外部幹事、富田剛弘渉外部員の三名で神輿修祓神霊入式並びに神輿渡御先導所役を奉仕した。

パレードはコロナ禍により三年ぶりに首都圏の大学ブラスバンドや子供たちの鼓笛隊、神輿を伴い、約二時間を掛け行われた。沿道から国旗を振る大勢の人で賑わいを見せていた。
(平岡好仁)

臨時総会



二月十三日、都神社庁にて臨時総会が開催された。都神社庁小野貴嗣庁長、神青協小林慶直会長をはじめ多くのご来賓のご出席とともに、正・賛助会員を合わせた四十九名が出席、百七名の委任状を得た。

大鳥居会長より、次期会長に板橋区氷川神社禰宜の篠泰比呂氏を指名し、承認された。その後、篠新会長より次期役員を指名し、こちらも承認された。篠新会長からは「次期役員を信頼し、ともに歩んでいきたい」との挨拶があり、役員とともに二年間の会運営を行う決意が示された。

総会後は四ツ谷にて懇親会が開かれ、来期へ向け、大きな一歩を踏み出した。
(齋藤剛)

他単位会交流事業

二月十五日にウェブ会議システムを用いての他単位会交流事業を実施した。今回は初の試みとして宮城県神道青年協議会（佐山崇会長）をはじめ、三重県神道青年会（吉田実生会長）、大阪府神道青年会（吉沢壯一郎会長）との四単位会合同での実施となった。

内容は二部構成で行い、一部は下谷神社阿部明徳宮司を講師にお招きし、震災や復興支援に関してご講演頂いた。続いて二部では一部の内容に関することや、災害に関する意見交換会を実施した。

意見交換後の懇親会では、阿部宮司にもご参加頂き、講演内容についてや普段聞く機会のない各単位会の話の聞き、懇親を深めることができた。
（山中聡一郎）



献血奉仕活動

二月二十六日に梅まつりで賑わう湯島天満宮境内で日本赤十字社の方々と、献血会を実施した。未だコロナ禍が収束していない状況に鑑み、会員の助勢参加は八名とし、献血の呼び掛けを行った。

献血の受付数は三十名で、献血可能者数は二十四名であった。例年より受付数が少なかったが、告知活動には手ごたえを感じる事ができた。より多くの方々に献血の大切さを伝える取り組みを行っていききたい。
（毛利勇人）

外貨・古切手収集

本年は、一月三十一日に久しぶりの新年会が開催され、受付前にて外貨・古切手を収集し、その後も継続して都神社庁に於いて収集した。多くの方にご協力頂き、外貨は合計約十九、五千円、古切手は合計一、八千円集まった。

コロナ禍の影響により国外からの参拝者が少ない時期があったものの、現在戻りつつある為今後は多くの収集が期待できる。これからも継続して行っていけることを望む。
（内海通人）

第二回教養講座

三月三日、埼玉県比企郡にある和紙工房「手漉き和紙たにの」にて、当工房主宰谷野裕子先生を講師に、「楮畑から始まる手漉き和紙作り」と題し、第二回教養講座が開催された。この工房では国重要無形文化財並びにユネスコ無形文化遺産に登録され、千三百年の歴史を持つ武蔵国の紙である「細川紙」を、原材料の栽培から製作している。

当日は二十九名の参加者が集まり、信濃町駅からバスにて移動。工房では伝統的な和紙の漉き方、用具の解説を受けた後、実際に紙漉きを行い各自三枚の奉書紙を製作した。参加者は楮・トロロアオイ・水だけで作られる和紙の質感、楮の皮を削る音、漉く際の水音など五感を通して和紙について学んだ。その後公民館に移動し、座学での講義を受けた。講義では基礎的な和紙の歴史や、原料の栽培に伴う山から海までの環境のこと、紙漉き技術伝承のために必要なことなど、多岐にわたりご説明頂いた。谷野先生の「和紙を伝える為には、紙漉き技術だけでなく、原材

料の栽培、紙漉きの用具、またその用具を作る為の道具や材料がなければならぬ。これらを作る農家や職人といった支えてくれる人たちが育つためには、仕事として残すこと。生活の中に生き残らないうと技術は伝わらない。」とのお話しに、受講生一同、神社として神職として協力できることは何かを考える機会となった。

その後の質疑応答では時間一杯多くの受講生が積極的に手を挙げ、和紙への理解を深めた。

閉講後は各々製作してきた和紙を受け取り、千年保つという和紙に思いを巡らせながら帰路に着いた。
（本橋知子）



動画配信中!



※ここまでは令和四年度の事業の為、役職表記は当時のものとなります。

定時総会

四月二十日、新体制となる令和五年度都神青定時総会が来賓・会員含め四十名の出席のもと、都神社庁に於いて開催された。

総会では、篠新会長が会運営にあたっての決意を表明し、続いて都神社庁小野庁長、神青協吉田芳樹次期監事よりご祝辞を頂いた。森田新議長の議事進行により新年度の全ての議案が承認された。

総会後の直会も久方ぶりに行われた。コロナ禍を経験し、今年度は事業を例年通り行うことに加え、創立七十五周年に向け事業計画・準備が始まるなど前向きな気運に、出席者一同の表情も明るく、今後について語り合っていた。

(鶴岡慶子)



新旧交代旅行

四月二十日・二十一日、都神社庁での定時総会に引き続き、箱根湯本温泉天成園にて新旧交代旅行が開催された。先輩方をはじめ、神青協吉田次期監事、箱根神社小澤篤至禰宜を来賓として迎え、四十六名の参加となった。

宴会では恒例の新旧交代の儀が行われ、大鳥居前会長と篠新会長が大盃を酌み交わした。大盃を初めて見る参加者もあり、とても印象的だったと語る。某芸人のクレージーな眼鏡をかけて宴会に登場する先輩……、二次会のカラオケを盛り上げる現役……。コロナ禍を乗り越え四年ぶりの開催となったが、参加者は親睦をさらに深めるとともに箱根の夜を満喫した。

(園田治穂)



主権回復記念日靖國神社参拝

四月二十八日の主権回復記念日、英霊に感謝の誠を捧げるべく靖國神社へ正式参拝を行った。四年ぶりに人数を絞ることなく、通常通りの開催となった。総勢十九名のご参加を頂いたが、コロナ前の参集人数到達を目指して今後も活動していきたい。

参拝中は殿内の厳粛な空気に包まれ、各会員が静かに祈りを捧げる様子はまるで時が止まったかのようにであった。参拝後に土師幸士相談役より、「四月二十八日は主権回復記念日ではあるが、一部地域は引き続き施政権の外に置かれていたことを決して忘れてはならない。」とのお言葉を頂いた。改めてこの日の意義について考え、より多くの会員への周知を広めていきたい。

(千葉布子)



役員研修会

五月十二日、期変わり毎に開催する役員研修会に総勢十七名が参加した。

一同はまず、千代田区霞が関にある領土・主権展示館に集合。解説員から領土問題の概要を拝聴し、北方領土・竹島・尖閣諸島のパネル展示を解説頂いた。昨今の我が国が置かれている状況を再認識すると共に、問題解決にはより多くの国民の理解が必要であると痛感した。

その後、都神社庁へ移動。土師相談役にご講話頂き、青年会の歩みや、当会創立七十五周年に向けた心構えをご指南頂いた。

(高島俊亮)



二 ユース

都氏青協参拝旅行

三月五日に第二十二回都氏青協研修参拝旅行が、参加者三十六名にて開催された。令和元年三月の実施を最後にコロナ禍により中止が続き、四年ぶりの実施となった。今回の研修旅行は、まず関東総鎮護の霊峰として名高い、大山阿夫利神社を正式参拝。昼食懇親会では大山詣り名物の豆腐料理を堪能。その後一行は、鎌倉市内へ移動し小雨の中、各々鎌倉を散策、新宿へ戻り解散した。

久しぶりの研修旅行は会員相互の懇親と親睦が一層深まった参拝旅行となった。(田村仁志)



神青協中央研修会

三月八日・九日の二日間、神青協中央研修会が四年ぶりに徳島グランヴィリオホテルにて開催された。「想ひ」を繋ぐ〜受け継がれしものを次の世代へ〜という主題のもと、全国より二百四十名程が参加した。

第一講「全てのいのちに優しい世界」を映画監督安藤桃子氏、第二講「伝統は、『守るべきもの』なのか」を株式会社和える代表取締役役矢島里佳氏、第三講「次世代に繋ぐ」を阿波おどり振興協会理事長山田実氏、第四講「折れない、心」を武道家ニコラス・ペタス氏と、様々な業界の先生方から講義を受けた。先生方のご講義は時局を捉えた内容で各自の感慨も深かった。続く懇親会では阿波踊りの披露があり大いに盛り上がった。



(石倉義浩)

一七協研修旅行会

三月九日・十日の二日間、徳島県、兵庫県に於いて一七協研修旅行会が行われた。これは一都七県の各青年会同士の交流が目的で、東京都からは十一名の会員が参加した。

初日には徳島県にある大麻比古神社にて正式参拝を行い、その後阪神淡路大震災で出現した野島断層が保存されている北淡震災記念公園を訪問。同震災の被災状況などを見学した。

二日目は兵庫県の西宮神社にて正式参拝。同県内にある廣田神社、弓弦羽神社にも参拝した。

研修旅行会は、新型コロナウイルスの影響で中止されてきたが、三年ぶりに開催。三十名の都県の青年神職が、地区の垣根を越え親睦を深めた。(齋藤剛)

令和四年度東北六県神道青年協議会 東日本大震災物故者慰霊祭

東日本大震災から十二年目となる令和五年三月十一日、宮城県石巻市に鎮座する鹿島御児神社の境内に於いて、東北六県神道青年協議会の奉仕により、東日本大震災

物故者慰霊祭が斎行された。本慰霊祭には、東北六県はじめ全国各地より青年神職を中心に多くの神職、また、来賓や遺族およそ九十名が参列した。

先ず大祓詞が奏上され、発災時刻の午後二時四十六分より一分間の黙祷が捧げられた。佐山崇齋主(宮城県神道青年協議会会長)により、お亡くなりになられた一万五千九百柱の御霊の慰霊と、未だ行方が分からない二千五百二十三名の方々の一日でも早い家族の元への帰還を祈念する祭詞が奏上された。また、神青協によって企画立案され、宮内庁・小野雅楽会の協力を得て、上皇上皇后両陛下の御製御歌をもとに作曲作舞された慰霊と復興を祈る新たな祭祀舞、『光舞(ひかりのまい)』が初奉奏された。(篠泰比呂)



(篠泰比呂)



神青協定例総会

四月二十七日、神社本庁大講堂に於いて第七十四回神青協定例総会が開かれた。完全参集の開催は四年ぶりであった。東京地区からは三人の役員が選任され、二年の任期を務める。

今期は、都神青から会長に大鳥居監事、地区理事に篠会長、指名理事に高島総務部長の三名が役員に選任され、その他特別委員会には内海副会長をはじめ四名の会員が出席することになった。

総会後は明治神宮で正式参拝を行った。夕刻より、明治記念館にて菊波の友垣会が開催され、全国の顧問の先輩方と懇親を深めた。東京地区の役員が会長を務める大事な二年間である。多くの会員のご参加ご協力を切に願う。

(齋藤剛)



都氏青協定例総会

六月十一日、明治記念館に於いて都氏青協の令和四年度の定例総会が、氏子青年会十三単位会並びに来賓・都神青役員・会員らを含め七十三名の参加により行われた。

都氏青協大井副会長・都神社庁小野庁長・当会篠会長の挨拶に続き、令和四年度事業報告並びに決算・令和五年度事業計画並びに予算等の審議が行われ、役員改選に伴い、都氏青協大井真二新会長以下、新役員が承認された。

閉会后、同記念館別室にて懇親会が行われ、和やかに親睦が深められた。また、本年七月八日には全国氏子青年協議会定期大会・創立六十周年記念大会（東京大会）が東京都主管のもと開催予定であり、成功を祈念し、閉宴となった。

(猿渡諒)



神青協優秀事業賞受賞

表彰状
当会事業の「重機資格取得講習会」が神青協定例総会において優秀事業賞を受賞いたしました。

一七協総会

六月二十二日・二十三日の二日間にわたり、神奈川県神道青年会主管のもと、湯本富士屋ホテルに於いて、第二十九回一七協総会が開催された。

総会では、今年度の会長に当会篠会長の就任が承認された。総会に引き続き、掌典長加地正人先生より「皇室の祭祀」という演題でご講演を頂き、宮中祭祀への見識を深めた。

総会後は、湯本富士屋ホテル二階「赤富士」に於いて懇親会が開かれた。懇親会では、来賓並びに顧問の諸先輩方、七県の会員と懇親を深めることができた。

(田村康晃)



大鳥居良人君 神青協会長就任を祝ふ会

五月八日「大鳥居良人君神青協会長就任を祝ふ会」が明治記念館に於いて開催された。

神青協元会長である中野区氷川神社中田昌之先輩・板橋区氷川神社篠直嗣先輩が発起人となり、東京地区神青協顧問の先輩方を中心として開催の運びとなった。

中田先輩の発起人挨拶に始まり、都神社庁小野庁長・神青協小林前会長よりご祝辞を頂いた。

弥生会・歴代相談役・東京地区顧問OB・神青協三役・一七協役員・都神青役員を合わせ、九十四名参加のもと盛会にての祝ふ会となった。



不易流行

本年は、関東大震災から百年の節目となります。当会は毎年八月十五日に、東京都慰霊堂に於いて都内戦災震災殉難者慰霊祭を行ってまいりました。また東京都復興記念館を見学といった事業も過去に実施いたしました。現在でも首都圏は日本列島の活断層帯に位置しているため、地震のリスクが高く、首都直下地震は今後三十年以内に七十%の確率で発生すると予測されています。首都直下地震が発生した場合、東京では多くの建物が倒壊し、火災が起り、交通機関が麻痺するなどの被害が予想されます。また、首都直下地震は、東京の経済にも大きな打撃を与える可能性があります。

この百年を通し東京都全体でも防災に関しての意識が一層高まっております。昨年五月の防災会議では、首都直下地震等による東京都の被害想定が十年ぶりに見直されました。内容を見てみると単純に比較できないものの、今回の死者の想定は前回より三割あまり、帰宅困難者に関してはおおよそ六十四万人減っています。これも防災

に対する意識や取り組み等の効果があげられるとの都の見解です。

また、一ヶ月以上にわたって時系列で具体的に示した災害シナリオが新たに盛り込まれました。長引く避難生活で体調が悪化して死亡するいわゆる「震災関連死」では、地震直後には停電で人工呼吸器などが停止し死亡するおそれがある他、数日後からはエコノミークラス症候群などによる死亡が、そして、一ヶ月以上あとには、慣れない環境での心や体の不調による自殺などが想定されるとしています。そしてライフラインやインフラの復旧想定、道路が寸断される事での復旧の遅延や長期化、長引く避難生活での諸問題なども想定されました。

東日本大震災以降、全国各地にて防災への関心が高まりつつあります。また、神社界でも多くの防災についての取り組みが行われています。今後我々神職は、災害が発生した場合何を優先しなければならぬのか？ また、どのような役割を果たさなければならぬのか、今一度よくよく考え各々の防災に対する役割に備えることが大切ではないでしょうか。

都神青の主な活動と予定

《関係諸団体の活動と予定》

七月 四日・五日	神道行法錬成研修会 武蔵御嶽神社御神域 役員会④ 都神社庁	八月 三日	なつやすみ子供神社 体験学習 明治神宮	七月 八日	全国氏青協第六十一 回定期大会・創立六 十周年記念大会 明治神宮会館
八月 十日	役員会⑤・連絡会② 都神社庁	八月 二日	神道人野球大会 神宮外苑軟式野球場	七月 二三日・二三日	神青協夏期セミナー 本社本庁
八月 十五日	都内戦災震災殉難者 慰霊祭並びに靖國神 社参拝 東京都慰霊堂 靖國神社	八月 二七日	都氏青協 納涼会 小石川大神宮 後楽園飯店	九月 二二日	神青協創立七十五周 年記念事業 波照間 の碑・聖寿奉祝の碑 祭典 波照間島
九月 七日	役員会⑥ W E B 会議 都神社庁	九月 二六日	神青協創立七十五周 年記念事業 波照間 の碑・聖寿奉祝の碑 祭典 波照間島	十月 四日	第二十七回一都七県 神職野球大会 大井スポーツセンター
九月 二四日	雅楽研修会① 都神社庁	十月 二日	神職野球大会 大井スポーツセンター	十一月 十三日	雅楽研修会② 都神社庁
十月 十九日	役員会⑦ 都神社庁	十一月 七日・八日	神青協中央研修会 札幌プリンスホテル	十一月 十七日	役員会⑧・連絡会③ 都神社庁

令和5年度 東京都神道青年会 役職・所属名簿

【三役・監事】

Table with 4 columns: Position, Name, Affiliation, and Special Duties. Includes roles like 会長 (President), 副会長 (Vice President), and 議長 (Chairman).

Table with 4 columns: Position, Name, Affiliation, and Special Duties. Includes roles like 監事 (Supervisor).

【相談役】

Table with 4 columns: Name, Affiliation, and Special Duties. Lists advisory roles.

【総務部】

Table with 3 columns: Position, Name, and Affiliation. Lists staff in the General Affairs Department.

【教養部】

Table with 3 columns: Position, Name, and Affiliation. Lists staff in the Education and Culture Department.

【教化部】

Table with 3 columns: Position, Name, and Affiliation. Lists staff in the Education and Culture Department.

【渉外部】

Table with 3 columns: Position, Name, and Affiliation. Lists staff in the External Relations Department.

【広報部】

Table with 3 columns: Position, Name, and Affiliation. Lists staff in the Public Relations Department.

【事業部】

Table with 3 columns: Position, Name, and Affiliation. Lists staff in the Business Department.

【地区委員一覧】

Table with 3 columns: District, Name, and Affiliation. Lists regional committee members.

Table with 3 columns: District, Name, and Affiliation. Lists regional committee members.

Table with 3 columns: District, Name, and Affiliation. Lists regional committee members.

編集後記

▼こちらはゲリラ雷雨と家の雨漏りに怯える日々だというのに、関東の水がめたる貯水ダムは渇水状態らしい。欲しいところに無くていらぬところにどっさり余っているのは、いつの世もどんなジャンルも変わらない摂理のようだ。

(鈴)

▼紙の価格が大きく値上げしているのは、円安の影響だそう。コピー用紙の無駄使いにも気をつけたい。今後、多くの神社において、コスト増を懸念し、ペーパーレス化が進んでいくかもしれない。(智)

▼息子たちも小学生と幼稚園児になり一筋縄でいかない日々。「夏休みの宿題後回しにしないの!」と言いつつも、編集後記を後回しにしていた私。似たもの同士で自分の耳が痛みます。(典)

▼はじめまして! 新参者の瀧亮子です。広報部では皆さんの足を引っ張ってばかりですが、これから頑張ります! 学生時代、課題はスマホから提出していたので、今回数年ぶりにパソコンを開きました。遂に広報部にもパソコンを使わない世代が来ました。(亮)

もっと詳しい活動の様子は
こちら↓↓

▼三年ほど前からメジャーリーグ観戦にハマっています。浅草でのご奉仕。英語力の必要性を感じながらも全く勉強する気になれずにいきましたが、オオタニサンを現地で観戦する!という夢に向かって、ようやく重い腰を上げて英語学習を始めました。(藤)

▼四年ぶりの隅田川花火大会。今年はずいぶん暑い中、テレビで観る予定でしたがやはり居ても立っても居られず、ドン!という花火の音を聴きながら楽しく外を歩きました。花火が終わって屋形船が一斉に帰るのを眺めるのも、夏の楽しみのひとつです。(景)

▼広報部長に必要と思われること。まめさ・パソコンスキル・期限を守る。あれ?全部得意じゃないような...。(震)。いやいや、苦手は伸びしろですよ。二年後の成長を楽しみに、やる気と溢れる愛で努めます!(知)

部・クラブ・同好会紹介

野球部



募集! 初心者大歓迎!
〈連絡先〉
濱中 貴文
大鷲神社権禰宜
03-3858-1132
昭和31年発足

雅楽クラブ



雅楽を楽しみたい方大歓迎
〈連絡先〉
香取 正彦
香取神社禰宜
03-3684-2813
平成13年発足

釣リクラブ



釣果を気にする必要なし
打ち上げからの参加者も歓迎!
〈連絡先〉
本橋 知子
馬橋稲荷神社権禰宜
03-3311-8588
平成8年発足

フットサル同好会



初心者大歓迎です!
〈連絡先〉
田村 仁志
大宮八幡宮権禰宜
03-3311-0105
平成17年発足

演劇同好会



参加者熱烈募集中!
〈連絡先〉
関 龍太郎
八幡神社禰宜
tss.geki@gmail.com
平成23年発足

東京都神道青年会
東京都港区元赤坂二二二三
東京都神社庁内
電話三四〇四一六五二五(代)

表題字
第三代東京都神社庁長
大鳥居吾朗先生